

1年生		2年生		3年生		4年生	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター

卒業後の進路

- ### 公務員
- 国家公務員
 - 国税専門官
 - 地方公務員
 - 警察官
 - 刑務官
 - 家裁調査官
 - 裁判所事務官
 - 検察事務官
 - 教員(中学・高校)
 - その他

- ### 企業
- 情報通信業
 - サービス業
 - 金融・保険業
 - 卸売・小売業
 - 製造業
 - その他

- ### 大学院進学
- 法科大学院(裁判官、検察官、弁護士を目指す方)
 - 法学研究科

- ### 目指す資格
- 税理士
 - 司法書士
 - 行政書士
 - 社会保険労務士
 - 宅地建物取引士
 - 公認会計士
 - 弁理士
 - ビジネス実務法務検定

履修指導科目

4年間の専門的な学びの土台となる特に重要な科目のことです。必修科目という枠組みではありませんが、学部として履修を義務づけています。

学部コア科目

法学部専攻科目のうち、法学部の学修体系の中心となる重要科目や、専門的な法学・政治学の学修に進むための土台となる科目で構成されています。

基礎演習

文献の調べ方やレジュメの作成、プレゼンテーションの手法など、大学での学びを進める上で欠かせない基礎知識を習得します。

法政入門演習

基礎演習で身につけた学修のノウハウを実践し、法学・政治学の基本的なテーマに取り組みます。実際の課題解決を通じて、大学での学びの基礎をより確かなものにしていきます。

法政基本演習A

法学・政治学の基礎をしっかりと固めながら、将来の専門的な学びに欠かせない「読み解く力・使いこなす力」を養います。法科大学院進学や公務員など、それぞれの希望進路に合わせた実践的なカリキュラムを通じて、将来活躍するために必要な力を高めていきます。

演習Ⅰ

演習Ⅱ・卒業研究

- 憲法ⅠA
- 民法(入門・総則Ⅰ)
- 現代社会と政治
- 憲法ⅠB
- 民法(総則Ⅱ)
- 現代世界の政治
- 刑事法入門

- 日本法制史A(近代日本社会と法)
- 憲法ⅡA(総論・国の統治)
- 民法(物権Ⅰ)
- 民法(債権Ⅰ【不法行為】)
- 刑法ⅠA
- 裁判と人権
- 政治学原論
- 司法実務特別講義
- 法哲学Ⅰ
- 民法(債権Ⅱ【契約】)
- 国際法Ⅰ(総論)
- 日本政治史A

司法特修コース コア科目

- ・ 司法特修セミナーA(導入)
- ・ 法律実務論A
- ・ 刑事訴訟法ⅠA(捜査法)
- ・ 民事訴訟法ⅠA(民事訴訟法の基礎)

行政公務特修コース コア科目

- ・ 行政公務特修セミナーA
- ・ 財政と公共政策
- ・ 行政法ⅠA(行政通則法)
- ・ 地方自治法

犯罪・刑罰と法・政策コース コア科目

- ・ 刑法ⅠB
- ・ 刑事政策
- ・ 刑事訴訟法ⅠA(捜査法)
- ・ 犯罪学

消費者と企業の法コース コア科目

- ・ 消費者法
- ・ 商法ⅠA(会社法①)
- ・ 民法(債権Ⅲ【債権総論】)
- ・ 企業法務入門

ライフデザインと法コース コア科目

- ・ 民法(親族)
- ・ 労働法ⅠA(個別法基礎)
- ・ 民法(相続)
- ・ 生命倫理と法

公共空間のガバナンスコース コア科目

- ・ 憲法ⅡB(統治の諸問題)
- ・ 現代政治論
- ・ 行政法ⅠA(行政通則法)
- ・ 行政学

グローバル法政コース コア科目

- ・ 国際政治論A
- ・ 国際法Ⅱ(各論(空間秩序・人権))
- ・ 西洋政治史A
- ・ 中東政治論

正義・自由・平等コース コア科目

- ・ 憲法ⅡB(統治の諸問題)
- ・ 日本法制史B
- ・ 法哲学Ⅱ
- ・ 政治思想史B

法政アクティブリサーチ

クラスごとにテーマを決め、公的機関や企業、市民団体などへ直接接点を運んでヒアリング調査を行います。前期に準備学習、夏休みに現場での調査を実施、後期にはその成果を報告書や報告会で発表します。

自分の志望に合わせて
コースを選択(2年生後期～)

学部共通コース

- 国際関係コース
- 英語コミュニケーションコース
- スポーツサイエンスコース
- 環境サイエンスコース

演習科目

